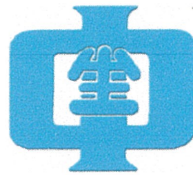


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第16号
(令和元年 9月)

文責 西澤 庄藏

平和集会を行い、恒久平和への誓いを新たにしました。

08/09(金)「長崎原爆の日」にちなんで長嶋 濤(3-1)委員長をはじめとする平和学習実行委員会主導による平和集会を行いました。平和学習の集大成としての各学年生徒発表と、語り部の講話を中心に構成されました。

中でも、町内在住の黒田賀久さん語り部としてお招きしてのご講話は、印象強く残りました。原爆で被災した実姉を爆心地付近で捜索する実話が、戦争がもたらす残忍さを如実に感じ、心に迫るものがありました。

11:02 黙祷後、平和学習実行委員会で策定した本校オリジナルの平和宣言文が決議されました。

【生月中学校平和宣言】

一、全ての命を大切にし、助け合います。

一、平和と友情を心に刻み、互いを思いやり、認め合います。

一、私たちの生活に目を向け、「いじめ」や「差別」をなくし、学校や学級、地域に平和を作りますよう努力します。

2学期も、このことが継続して実践できるよう学校生活でいっそう人権教育に力を入れて取り組んでいく決意を新たにしました。

また、折り鶴の献呈も行われました。折り鶴は、2年生の修学旅行団に引き継がれ、平和学習の地・大刀洗平和記念館(福岡県)に献呈される予定です。

戦争の悲惨さを知り、後生に伝えていくきっかけとなった有意義な時間となりました。



地域の伝統芸能に中学生も参加しています。

08/18(日)町内館浦地区にて市無形民俗文化財「館浦須古踊り」が行われ、山田小学校区の中学生が参加しました。館浦地区各所でお披露目後、船員福祉会館前で総踊りが公開されました。

夏休みに入り稽古の様子を拝見することもしばしばでしたが、その稽古の成果が生かされた踊りに見入ってしまいました。中踊りの女子生徒に、少子化による伝統行事存続の厳しさも感じました。

大人に交じって伝統芸能を継承する中学生のたくましさ、ひたむきさを感じたひとときでした。



【お知らせ】

P T A主催除草作業が延期になりました。

荒天のため、作業日時が 09/08(日) 07:00 開始に変更となりました。作業参加を優先して休日を調整してくださった方々もいらっしゃったとお聞きました。願いも天には届かず、断腸の思いで期日変更に至りました。(1週間後の 09/08(日)が全ての会員の皆様にとってご都合がよいわけではないと思いますが)どうぞ、引き続き、ご協力のほど、お願いいたします。

詳細は、後日、再度のお知らせ文書を発出しますので、ご参照ください。